

'99スーパー耐久シリーズ
第6戦・第7戦・第8戦 クラス2

CMSC
山形

小川日出生選手組後半戦の好成績で見事逆転! 念願のシリーズチャンピオンを獲得!



写真左、シリーズポイントトップに立った、CMSC山形小川組第6戦の走り。写真上、第6戦優勝の表彰台。



写真上、第7戦でトップを走るCMSC座間市村組。写真下、感激の優勝の表彰台。



スーパー耐久シリーズ99は、最終戦の第8戦を終了してCMSC山形・小川日出生選手／細野智行／伊藤勝一選手組のRS04 ADVANランサーがシリーズチャンピオンを獲得した。前半戦は3位続きと惜しい戦いだったが、第5戦以降の活躍で見事にシリーズポイントを逆転しチャンピオンの座を獲得した。シリーズポイントでトップにたった第6戦の模様から振り返ってみたい。

第6戦は9月18・19日ツインリンクもてぎで行われた。前戦の第5戦で今シーズン初優勝を飾っていた小川組、ライバルはプーマランサーとCMSC座間の市村組。予選3位で決勝へ。トップのプーマランサーは不運が続き脱落。代って「抑えたベース配分でポジションキープで挑んだ。」小川組がクラス2のトップに躍り出た。後半は同じチームのデーブ岸選手／武井寛史選手／笠原昌二選手組が2位に上がり、うれしい1・2フィニッシュ。小川組はここでシリーズポイントトップに立った。

第7戦は、10月9・10日富士スピードウェイで行われた。ライバルは同じプーマランサーとCMSC座間の市村組。小川組は前回同様予選3位。決勝では、プーマランサーはまたもリタイア。CMSC座間の市村組がトップを守りきりクラス優勝。総合でも2位に入る快走だった。ここで小川組は2位を確保。シリーズポイントでの差を19と広げることができた。

そして最終戦は11月14日スポーツランドSUGOで行われた。小川組は決勝9位以上でシリーズチャンピオンが確定。予選6位の小川組は順位よりも完走を目標にスタート。優勝は、ここ2戦不運続きだったプーマランサー。2位には前回優勝の座間・市村組。小川組は6位で見事シリーズチャンピオンを獲得した。地元のSUGOでのシリーズチャンピオン決定は特別な喜びがあったに違いない。

「苦勞が報われました。」

スーパー耐久クラス2シリーズチャンピオン 小川日出生

永年の夢がかなって、大変うれしく思っております。これもラリーアート様全国のCMSCクラブ員の方々のご協力があってこそ成し得た事と感謝しております。今後もこれにおおごれることなく、日々精進を続け、若い人達の見本となるべき活動を続けてゆきたいと思

ております。ラリー車としてはあまりにも有名なランサーを初めてサーキットに持ち込み、人に言えない苦しみを味わいながらもここまで続けてきた事が、やっと報われたような気がしております。パイオニアとしての苦悩があったからこそ喜びもこの上ないものになりました。

シーズンオフに入った今、新たな挑戦へ向けて、構想を練っているところです。サーキットで私を見かけた時には、気軽に声をかけて下さい。全国のクラブ員の方々とお会い出来ることを楽しみにしております。来シーズンもどうぞ宜しくお願いいたします。

「喜び溢れるチーム関係者の顔が忘れられない!」

第7戦優勝 CMSC座間 市村秀明

今回の第七戦は、私とチームの地元富士スピードウェイでの開催となり、前回の屈辱を晴らす絶好のチャンスとなりました。金曜日の前日練習では、ライバルでもあるプーマランサーをも抜く勢いで好タイムで前日練習を終えました。

予選当日、1回めのアタックは、私が4周行い、1分39秒788で総合7番手、クラス2番手でチームメイトの川崎選手にバトンタッチ。川崎選手も期待に応じてタイムを1分39秒448で結果クラス2番手のまま予選を終了した。

決勝当日、チームオーナー、スポンサーの方々の方々の期待の中、車をグリッドにつけ私が第一ドライバーで車内で精神統一。スタート直後、頑張ってプーマランサーに追いつこうと努力したが徐々に離されていき、無線で監督に「タイムキープで走ります。」と言った瞬間、13周目にプーマランサーが1コーナ出口でエンジンブロー。私はとっさにタイムアタックモードに突入。みるみるうちに2位とも離れ無事45周を終えてチームメイトの川崎選手にバトンタッチ。クラス1のGTR勢が総々とトラブルでピットインをしている中、我々のランサーは快調に飛ばし、82周目給油とドライバー交代の為にピットイン。128周目突入直後「残り10周頑張ってください。」との無線が入り、残り1周の時ピットの中のチーム関係者は大興奮。そんな様子を頭に浮かべながら「無事最終コーナーをクリアしました。」と無線を入れました。そしてチェッカーフラッグがふられた。表彰台から見おろすチーム関係者の顔は、喜びにあふれ、今でも忘れられない光景となった。来年もこの光景を見られる様に頑張りますのでご声援をお願いします。

CMSC会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様にとって、昨年はいかかな年でしたでしょうか。当CMSCは昨年、「座間」と「南茨城」を新たな仲間を迎え入れ23支部約700名の会員の組織となりました。各支部での主催イベント、各会員の皆様の内外を含めての積極的な競技参加を通じて、皆様の活躍は聞かえてまいります。

今年は、2000年という区切りの年。20世紀に発展したモータースポーツを21世紀へつな

げ、さらにその発展のためのステップの年にしていきましょう。また、皆様と本部のいずれもがCMSCのメンバーとして誇れる年ともなるよう頑張らしましょう。最後に、皆様の今まで以上のご活躍をお祈り申し上げます。

2000年 元旦 CMSC会長 外川一雄



'99全日本ダートトライアル選手権 第8戦・第9戦

AIIIクラス CMSC大阪 **藤原雄一郎選手、シリーズチャンピオン獲得!**

AIIIクラス
CMSC大阪
藤原雄一郎選手
第8戦 3位
第9戦 4位



AIVクラス CMSC群馬 **荒井信介選手、第8戦、3年振りの優勝!**

第8戦:「'99モンテカルロカップ ダートトライアル・イン・ヒロシマ」
9/2日(日)広島県高田郡高宮町「テクニクスステージカクタ」
第9戦:「大誠テクノCUP ダートイン関西'99」
10/11日(日)大阪府堺市築港八幡町「新日鐵堺オフロードウェイ」

AIVクラス
CMSC群馬
荒井信介選手
第8戦 優勝
第9戦 5位



AIIIクラス
CMSC浜松
相原保雄選手
第8戦 4位
第9戦 2位



AIVクラス
CMSC札幌
宝田芳浩選手
第8戦 5位
第9戦 2位



AIVクラス
CMSC栃木
赤羽政幸選手
第8戦 2位



Iクラス
CMSC座間
小出久美子選手
第9戦 3位



'99全日本ラリー選手権四輪駆動部門第9戦(最終戦)

Bクラスにはもうすでにシリーズチャンピオンが決定しているCMSC道北の鎌田豊選手と同じ道北の鷹野健太郎選手が出演。鎌田選手は残念ながらリタイアという結果でしたが、鷹野選手が4位に入りシリーズポイントも3位と健闘してくれました。また、CクラスではCMSC

埼玉の田口幸宏選手が出場し5位に入賞し、シリーズポイントでも5位を確保しました。

第9戦:「第27回M.C.S.Cラリー-ハイランドマスターズ'99」
10/16(土)~17(日)岐阜県大野郡宮村「飛騨山スキー場」スタート・ゴール



CMSC道北
鷹野健太郎選手 第9戦 4位 '99全日本ラリー選手権シリーズ3位(Bクラス)



CMSC埼玉
田口幸宏選手 第9戦 5位 '99全日本ラリー選手権シリーズ5位(Cクラス)

最終戦、ナビは本部・田口氏。(右)

CMSC道北・鎌田豊選手 (全日本ラリー4WD部門 Bクラスチャンピオン)
CMSC山形・小川日出生選手 (スーパー耐久シリーズレース クラス2チャンピオン)
CMSC大阪・藤原雄一郎選手 (全日本ダートトライアル AIIIクラスチャンピオン)

'99ラリーアートドライバー・オブ・ザ・イヤー受賞!!

12月17(金)三菱自動車工業本社内で、'99ラリーアートドライバー・オブ・ザ・イヤーの国内選手の表彰式が行われ、CMSCから3選手が選ばれました。CMSC道北の鎌田選手は2年連続3度目の受賞。CMSC山形の小川選手とCMSC大阪の藤原選手は初受賞しました。



後列左、鎌田選手。左から2人目、藤原選手。前列右、小川選手。